

# ふくしま共創チーム運営業務委託仕様書

## 1 委託業務名

ふくしま共創チーム運営業務

## 2 業務の目的

福島県では、人口減少の危機的な状況に対し、県内の産官学金労言士が一丸となり、「オール福島」で対応していくため、人口減少の危機感を共有しながら、共に考え、共に行動するための連携基盤として「ふくしま共創チーム」を令和7年7月に設立した。

本業務は、ふくしま共創チームの活動のうち、「若手チームによる企業・地域訪問及びワークショップ」、「全体会」の運営・広報等を行うものである。

## 3 業務の実施期間

委託契約締結日から令和9年3月24日までとする

## 4 業務の内容

以下に掲げる業務を実施すること（以下、委託者である福島県を甲、受託者を乙とする）。

### （1）若手チームの構成

県内の3つの高等教育機関の学生を中心に、企業・団体・市町村の若手職員にて構成されるチーム。浜通り・中通り・会津にそれぞれ1チーム20名程度で編成。高等教育機関への参加打診や企業等の若手職員の募集は甲が行う。

### （2）輝く企業・地域調査

以下の前提条件や業務内容を踏まえて企業・地域訪問を運営すること。

#### 【前提条件】

- ・各地域で企業・地域を訪問し、地元企業の方々の独創的な取組やオンリーワンの技術などを深掘りすることで、今まで気づかなかった「ふくしまの宝」を発見することを目的とする。
- ・「4（3）連携・共創ミーティング」での議論に向け、7～8月頃に1回、10月頃に1回、若手チームが浜通り・中通り・会津の各地域で企業・地域訪問を実施する。
- ・また、訪問先への打診及び決定については甲が行うものとする。
- ・なお、訪問には、後述の各地域担当アドバイザーも同行するものとする。

#### 【業務内容】

- ・1回につき1日で企業・地域を2箇所程度訪問することとし、参加者移動用の貸切バス（運転手付き）を手配し、当日の運営に必要な調整を行うこと。
- ・参加者の昼食を手配すること。なお、可能な限り開催地域の特色のある内容とするこ

と。

- ・企業・地域調査の活動を広く公表することを想定し、調査活動結果（1回目、2回目それぞれ）を整理・資料化すること。なお、資料化の際は、後述の地域担当アドバイザーや参加学生等と調整の上作成すること。
- ・当日の写真を撮影し、甲にデータで納品すること。

#### 提案事項 1

以下の事項を提案すること。

- 輝く企業・地域調査の資料化の手法

### （3）連携・共創ミーティング

以下の前提条件や業務内容を踏まえてワークショップ（参加者同士の議論、取りまとめ、発表など）等を運営すること。

#### 【前提条件】

- ・後述の地域担当アドバイザーの進行により、ワークショップを運営し、各地域の調査で得られた気づき等を、地域のグループごとに意見交換・共有し、それぞれの魅力や課題について深掘りする。さらに、地域単位でプレ発表を行うことで、全体会に向け地域を越えた気づきの波及につなげることを目的とする。
- ・11月頃、会津地域または郡山市において1日で実施し、各地域の若手チームが一同に会するものとする。
- ・参集規模は60名程度（訪問受入企業等12名、若手チームの学生18名・企業9名・市町村職員9名、県外学生6名、県出先機関職員6名を想定）とし、訪問受入企業等・県外学生の参加調整は甲が行う。なお、60名に甲は含んでいない。

#### 【業務内容】

- ・開催時期、参加人数等を踏まえ十分な広さ・駐車場を備えた会場を確保し、会場との連絡調整、使用料支払等を行うこと。また、公共交通機関でのアクセスやシンボリック性や話題性等も考慮して会場を選定すること。
- ・会場への移動に当たっては、各地域発のバス等を手配し、当日の運営に必要な調整を行うこと。
- ・ワークショップの運営に必要な会場の設営、設備や備品の手配を行うこと。  
（例）机椅子 / 音響設備 / 資料投影用のプロジェクター・スクリーン・PC / 各班の作業用PC / ワークショップ運営に必要な資料の作成・印刷（ex. 投影資料（見出し、司会プロフィール等）、手元配布資料の印刷等） / 各班議論用の大型ワークシート / ふせんやペンなどの筆記具 / 簡素な茶菓子・飲料 等
- ・参加者の昼食を手配すること。なお、可能な限り開催地域の特色のある内容等とすること。
- ・ミーティングの内容を広く公表することを想定し、当日の議論結果を整理・資料化

すること。なお、資料化の際は、地域担当アドバイザーや参加学生等と調整の上作成すること。

- ・当日の写真を撮影し、甲にデータで納品すること。

#### 提案事項2

以下の事項を提案すること。

- 連携・共創ミーティングの会場
- ミーティング冒頭のアイスブレイクの手法
- ミーティング結果の資料化の手法

#### (4) 各地域担当アドバイザー

若手チームの活動を支援するため地域担当アドバイザー制を導入し、浜通り・中通り・会津地域に1名ずつ配置する（ただし、アドバイザーの人选は甲が行う）。アドバイザーへの謝礼（交通費含む、一人当たり30万程度（消費税抜き））の支払いを行うとともに、活動に必要な連絡調整を行うこと。輝く企業・地域調査実施日は、地域担当アドバイザーを中心に若手チームによる1日の振り返りを行うため、振り返りの場所の確保含め必要な調整を行うこと。また、若手チームの参加者が、活動の無い期間にも意見交換等を行えるよう、オンラインの連絡ツールを用意すること。

#### (5) 全体会（活動報告会）

以下の前提条件や業務内容を踏まえて、ふくしま共創チームの全体会（活動報告会）を運営すること。

##### 【前提条件】

- ・開催時期は令和9年1月下旬から2月上旬とする。
- ・開催方式は、現地とWEBのハイブリッド形式とする。
- ・全体会は、若手チームの活動等を通じて得た気づきや思い、取組事例等について、産官学金労言士で共有する場とする。

##### 【業務内容】

- ・200名以上を収容できる中通り地域の会場を確保し、会場との連絡調整・使用料金の支払等を行うこと。なお、公共交通機関でのアクセスや参加者が車で来場することを想定した十分な駐車場を確保できる会場を選定することとし、これが難しい場合は近隣の主要駅等からの送迎等の手配を行うこと。
- ・会場確保にあたっては、発表者等を想定した控室を確保すること。
- ・WEB配信用の設備等も含めた会場設営・運営を行うこと。
- ・司会者の手配、司会者との各種調整を行うこと。
- ・ディレクターの手配、シナリオ作成等を行うこと。
- ・講演者への謝金・交通費等が必要な場合、その支払や必要な連絡調整を行うこと。

- ・参加者募集のための広報活動（広報ツール作成、有料広告含む）を展開する。
- ・若手チームの年間活動をまとめた成果物を100部程度作成する。成果物は、若手チームの参加者全員に対して配布するための冊子を想定する。なお、甲にデータ形式でも納品すること。
- ・当日の写真を撮影し、甲にデータで納品すること。

#### 提案事項3

以下の事項を提案すること。

- 全体会の会場
- 全体会の司会者
- 全体会のサブコンテンツ（例：1年間のチーム活動の振り返り動画など）
- 若手チームの年間活動をまとめた成果物の資料化の手法

### （6）ふくしま共創チームの活動内容における広報活動

ふくしま共創チームの活動内容について、活動の都度、知名度のある広報媒体を活用した広報活動を実施すること。なお、使用する広報媒体は、紙媒体・WEB媒体を問わないものとする。

#### 提案事項4

以下の事項を提案すること。

- 各活動における広報活動の手法（企業・地域の行動変容につながる内容を含む）

### （7）各活動に参加する学生や有識者等に対する謝礼・交通費の支払

以下の区分に従い、謝礼及び交通費を支払うこと。支払いに関する相手方との連絡調整は乙が行うこと。

#### 【参加学生（県内）】

支払対象行事及び想定参加人数（開催時期は想定）

- |   |     |             |          |        |     |
|---|-----|-------------|----------|--------|-----|
| ① | 8月  | 輝く企業・地域調査①  | → 謝金+交通費 | 6名×3地域 | 18名 |
| ② | 10月 | 輝く企業・地域調査②  | → 謝金+交通費 | 6名×3地域 | 18名 |
| ③ | 11月 | 連携・共創ミーティング | → 謝金+交通費 |        | 18名 |
| ④ | 2月  | 全体会         | → 謝金+交通費 |        | 18名 |

謝礼単価：1名あたり9,200円/日

交通費：各活動の集合場所までの交通費実費

※①②③は平均で2,000円程度を想定すること

※④は平均で4,400円程度を想定すること。

支払方法：各行事に参加の都度、各学生の口座へ振込を原則とするが、参加学生の所

属教育機関との調整の結果、同機関に学生全員分を一括で振り込む運用も妨げない。

#### 【参加学生（県外）】

支払対象行事及び想定参加人数（開催時期は想定）

- ① 11月 連携・共創ミーティング → 謝金＋交通費＋宿泊費 6名  
謝礼単価 : 1名あたり9,200円  
交通費 : 各活動の集合場所までの交通費実費  
※平均で44,000円程度を想定すること。  
宿泊費 : 前泊または後泊（またはその両方）で上限30,000円程度を想定すること。  
支払方法 : 各学生の口座へ振込を原則とするが、参加学生の所属教育機関との調整の結果、同機関に学生全員分を一括で振り込む運用も妨げない。

#### 【ふくしま創生・人口戦略有識者会議の委員】

支払対象行事及び想定参加人数

- ① 11月 連携・共創ミーティング → 謝金＋交通費 3名  
② 2月 全体会 → 謝金＋交通費 8名  
謝礼単価 : 1名あたり9,200円/日  
交通費 : 活動場所までの交通費実費  
※各活動は、9,000円/人程度を想定すること。  
支払方法 : 各行事に参加の都度、各委員の口座へ振込  
[参考]委員名簿：以下の県公式HP参照（計15名）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/sougoukeikaku-6020.html>

## 5 成果品及び提出期限

- (1) 本業務の成果品は「委託業務実績報告書（様式任意）」とし、契約期間終期までに提出すること。
- (2) 上記成果品及び委託業務で発生した全ての成果物は甲に帰属することとし、乙は甲の承認を得ずに使用、公表しないこと。
- (3) 成果品の提出先は福島県企画調整部復興・総合計画課とする。

## 6 業務の指示監督等

- (1) 乙は、本業務を実施するにあたり、委託者の意図及び目的を十分理解した上で、十分な経験及び知識のある技術者を定め、かつ、適正な人員を配置するよう努力するとともに、正確丁寧に行うものとする。
- (2) 乙は、本業務を実施するに当たり、当該契約に基づき委託者が定める監督職員と常に密接な連絡を取り、その指示に従わなければならない。
- (3) 乙は、業務上必要と認められるもので、本仕様書の解釈に疑義が生じた事項及び仕様書に明記していない事項については、甲と事前に協議し、その指示に従わなければならない。

ない。

## 7 その他

- (1) 委託業務の開始から終了までの間、委託内容全般を常に把握している専任の担当者を置き、業務の円滑な実施のために、定期的に甲と連絡調整を行うこと。
- (2) 委託業務に当たり使用する図表やデータ、画像等の著作権・使用権等の権利については、乙において、使用許可を得ること。なお、これらを怠ったことにより、著作権等の権利を侵害したときは、乙は、その一切の責任を負うこと。
- (3) 乙は、本業務の遂行に当たり知り得た情報を甲の許可なく他に漏らしてはならない。契約終了後も同様とする。
- (4) 乙は、本仕様書に疑義が生じたとき、本仕様書により難い事由が生じたとき、或いは本仕様書に記載のない細部については、甲と速やかに協議し、その指示に従うこと。